

年頭の一ヶ挨拶

佐呂間町長 川根 章夫

年頭の一ヶ挨拶 2014

本年も、町職員一丸となつて 全力を尽くしていきます!!

新年あけましておめでとうございま
す。今年も町民の皆さんと輝かしい新春
を迎えることができましたことを大変
喜ばしく思いますとともに、昨年は町
政全般にわたり、格別のご理解と温か
いご厚情を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年のわが国は、長引くデフレから
の早期脱却と経済再生を図るため、安
倍内閣が打ち出した「大胆な金融政策」、
「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起
する成長戦略」の「三本の矢」を一体
としての政策が強力に推進されました
が、その効果は大企業・大都市だけに
とどまつておらず、地方への波及は実感
できるものではなく、未だに地方の地域
経済を取り巻く環境は厳しいものがあ

ります。また、社会保障制度改革・原
子力発電所再稼働とエネルギー問題・
TPP問題・領土問題・国と地方自治
体のあり方の問題などが課題として山
積している状況の中で、7月21日の第
23回参議院議員選挙において、政権与
党的議席数が過半数を上回ることとな
りましたので今後は、山積している国
内外の重要課題に迅速に対応されるこ
とを期待しております。

こうしたなか、日本各地では多くの
自然災害による被害が発生し、特に伊豆
大島では、台風26号による記録的な豪雨
で土石流などにより大規模な災害とな
り、犠牲になられた方々のご冥福をお
祈りいたしますとともに、一刻も早く

昨年の佐呂間町を振り返りますと、
3月の暴風雪により大規模な道路交通
障害が発生し、さらに8月の局地的な
大雨と強風により栄・若佐地区の一部
で床下浸水などの被害がありましたが、
大規模な災害とはならず安堵いたしま
した。

町内産業の状況ですが、農業におい
ては、春先の雪解けの遅れや低温など
の天候不順により作物の蒔きつけが遅
れ、また、夏場の雨不足、その後の降
雨による影響で、畑作の主要作物であ
る麦類・ビート・その他作物の農産物
全体で減収となつたところです。
畜産においては、夏場の猛暑により
生乳生産に影響が見受けられ、燃油、
飼料などの生産資材価格が高止まりの
状況が続く中ではあります、TMR
センターの活用や酪農家の努力、固体
販売が順調なこともあり、農協全体の
販売額は、当初計画を上回つたところ
となり、また、サケ定置網漁業は9月
の時化で前年度の漁獲量と比較すると
減少しましたが、全体としては当初計
画を上回る結果となりました。

漁業においては、主力の外海ホタテ
漁は歩留まりも高く価格も好調で、養
殖ホタテは予想よりも価格との結果
となり、また、サケ定置網漁業は9月
の時化で前年度の漁獲量と比較すると
減少しましたが、全体としては当初計
画を上回る結果となりました。

林業においては、森林組合の製材工
場が閉鎖されたことは残念ですが、民

有林管理事業については、事業の継続
が図られており安堵しているところで
あります。

商業に目を向けてみると、8月に函館
市に本社を置くテーオー小笠原グル
ープが「イエローローブ佐呂間店」を出
店し、町内の事業所として加わったこ
とで雇用が広がつたところであります。

さて、新しく迎えました平成26年で
ありますが、環太平洋連携協定(TP
P)交渉が越年することになったもの
の、予断をゆるさない状況にあります
には違いなく、地方をとりまく環境は
年々厳しくなっております。これから
も、地域自らの発想と創意工夫により
魅力あるまちづくりを進めため、将
来のまちづくりの指針として4年目と
なります第4期町総合計画の「心豊か
で快適な暮らしを支えるまち」、「豊か
な自然と人が共生する産業」、「ふれあ
いとやすらぎのある社会」、「ここる育
む魅力ある教育」を目標に、住んでみ
たい、住み続けたいと思つていただけ
るまちづくりを目指し、最大限の努力
を私ども町職員一丸となつて全力を尽
くしてまいる所存であります。

4月から新たに19床の町立診療所「グ
リニックさるま」として、宮城県富谷
町に本部を置く医療法人恵尚会運営に
による新規開設が決定しており、新年度
からの診療開始に向け準備を進めてい
るところであります。

今後も将来にわたつて安心して暮ら
していける地域医療の充実に全力で取
り組んでまいります。

また、町有遊休地を民間事業者に貸
り

し付けて、再生可能エネルギーの普
及を図る太陽光発電所が旧若佐小学
校跡地に昨年10月完成し、すでに1,
250 kW、一般家庭で約400戸分
に相当する量を発電し稼働をしており
ます。

明るいニュースとしては、2020
年の夏季オリンピック・パラリンピッ
クが56年ぶりに東京で開催されること
を期待しています。

となり、次世代を担う子どもたちにた
くさんの夢と希望を与え、回復の兆し
をみせている日本経済への刺激となり、
震災復興の加速へとつながっていくこ
とを期待しています。



謹賀新年	佐呂間町	町長 川根 章夫
議長 加賀屋 修	副議長 佐藤 昭男	他議員・職員一同
教育委員会	委員長 中道 寛雄	他委員・職員一同
農業委員会	委員長 内藤 学峰	他委員一同
選舉管理委員会	委員長 山本 英人	他委員一同
監査委員	委員長 舟木 正一	他委員一同
遠軽地区広域組合佐呂間消防団	団長 五十嵐 正一	他団員・職員一同

年頭の一挨拶

佐呂間町議会議長 加賀屋 修

2014

的確かつ適正な議会活動に
全力を傾注します!!

Town Topics

まちの話題

話題・出来事など皆さんからの
情報を待ちしています。

町民課住民活動係 Email chouminka@town.saroma.hokkaido.jp Tel 2.1213

日本赤十字社献血功労団体表彰
サロマ福祉会・(株)岸組が受賞



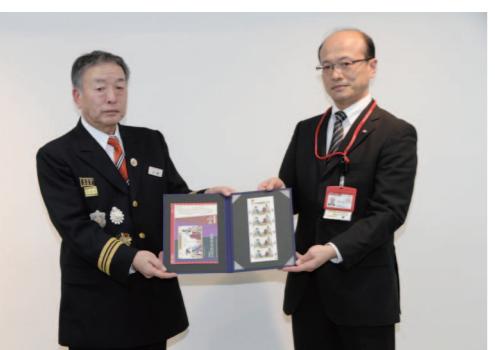
永年にわたり、献血運動に貢献している企業・団体に日本赤十字社から贈られる、献血功労表彰に社会福祉法人サロマ福祉会、(株)岸組が選ばれ、表彰されました。サロマ福祉会は5年以上、(株)岸組は10年以上の献血運動を継続され、それぞれの代表者に、12月11日、日本赤十字社支部長感謝状が手渡されました。



永年の功績を称えて 援護事業功労者厚生大臣表彰

戦傷病者、戦没者遺族、未帰還者留守家族などの援護に関する事業に携わり、功績が顕著な方が表彰される援護事業功労者の厚生労働大臣表彰を川村勘市氏が受賞されました。

川村氏は昭和49年から(財)北海道傷痍軍人会遠軽支部役員として理事、支部長を歴任され平成23年までの37年間ご活躍され、また、(財)北海道傷痍軍人会役員として理事を延べ4年間、評議員として平成6年から23年までの17年間もの長い間ご尽力されました。その功績を称え、11月22日に東京都で行われた表彰式で、厚生労働大臣から表彰状が手渡されました。



社会貢献活動に感謝
松谷・橋本川島・豊松
特定建設工事共同企業体



消防団発足120周年
記念切手シート寄贈

全国で最初の消防団発足から120周年となることを記念して、販売されている消防団発足120周年記念切手を佐呂間郵便局が佐呂間町消防団に寄贈しました。寄贈したのは記念切手シートを封した記念ファイルで、12月5日、南保局長から五十嵐団長に手渡されました。この切手は、枚数限定で佐呂間郵便局で販売されています。

町民の皆さんにおかれましては、ご健勝にて輝かしい平成26年の新春を迎えては、7月に実施された参議院選挙において、連立与党が過半数となり、ねじれ状態が解消となりました。

こうした中で、政府は環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に正式に参加しましたが、交渉は進展せず、基幹産業である農業・漁業などへの影響が懸念されており、今後もその動向を注視していかなければなりません。

また、景気は、緩やかに回復しつつあるとの情勢となっておりますが、消費増税の影響を懸念し、5兆5千億円の経済対策が決定されました。

しかし、個人消費などの落ち込みも懸念されており、今後の景気動向は行き不透明になつております。さらに多くの飲食店において、メ

スの日本一は、東日本大震災で被災した東北地方の方々に、夢と希望と感動を与えた明るい話題でもありました。

さて本町をかえりみますと、昨年は春先の長期間の低温や日照不足、7月の干ばつ、8月の集中豪雨など天候に左右された一年であります。

基幹産業の農業は、その天候の影響を受け主要作物の秋蒔き小麦を中心減収となつたことから、農産販売額の減少が予想されておりますが、酪農畜産において乳価の引き上げ、肉牛の固体販売が順調に推移したことから全体では、計画を上回る見込みとなつております。

ニュー偽装問題が発覚するとともにJR北海道のレール補修箇所の放置や計測値の改ざんなど、食の安全・安心や公共交通の安全輸送に対し、多くの疑惑を抱かせた年でもありました。

一方、東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一は、東日本大震災で被災した東北地方の方々に、夢と希望と感動を与えた明るい話題でもありました。

さて本町をかえりみますと、昨年は春先の長期間の低温や日照不足、7月の干ばつ、8月の集中豪雨など天候に左右された一年であります。

水産業は、外海ホタテ、秋サケなど水の価格に恵まれ、計画を上回る見込みとなつております。

地域経済、雇用環境は依然として厳しい状況となつておりますが、住宅建設・改修費の助成や商品券発行などの各種施策により、活性化が図られております。

いざにしろ、厳しい社会情勢の中、全体的に概ね計画が達成されたことは喜ばしい限りであります。

さて、地方を取り巻く環境は大きく変化しつつある中で、基幹産業の活性化対策、少子高齢化社会に対応する医療・福祉政策などの充実が求められております。

このようない状況の中で、議会としましても昨年の改選により議会構成が変わりましたが、本町が自立した町として歩み続けていく上で、将来を見据えた安定的な行財政運営が可能となるよう、時代の大きな変革期にあることを踏まえ、的確かつ適正な議会活動にいます。

さ

して、今年も、町民の皆さんのが健勝で幸

い年になりますことをご祈念申しあげ、新春のご挨拶といたします。

